

夏瀬の森

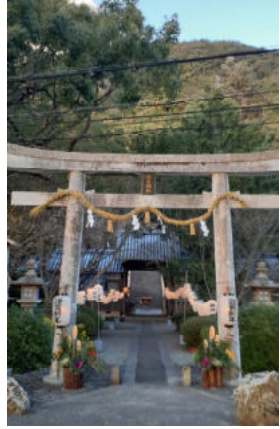
だより

令和五年一月二十五日 第九十八号

田殿丹生神社 宮司 嶋田博文

新春をお迎えして

令和五年（紀元二六八三年）癸卯（みずのと・う）の年をお迎えし、謹んで新春のお慶びを申し上げます。今年も風も、雪もなく穏やかに迎えることができ、初詣に参拝される方も多く見られました。境内で過ごしていただくことができませんでした。残念ながら恒例の甘酒やぜんざいのふるまいは今年もできませんでしたが、敬神婦人会の方々に清掃を助けていただいた美しい境内や総代様が準備してくださった大きな焚火が大切なおもてなしとなりました。密になるのを避けていただき、昨年、分散してのお参りにご協力いただきありがとうございました。一日も早く、従来のようになお祭りや初詣の姿を取り戻すことができれば幸いです。皆様方の健康と多幸を心からお祈りいたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。



収穫に感謝 冬祭り

十二月十一日、冬祭りを執り行いました。冬祭りにはにぎやかな、わゆる神賑行事はありませぬが、神様に農作物の収穫や一年間の仕事の成果を感謝する祝詞を奏上いたしました。もちろんだご採りたてのみかんも供えし、みかんの郷としての発展

も祈願します。また、冬祭りに併せて絵馬の掛け替えも行います。今年のは癸卯（みずのと・う）歳。大量の情報を集める大きな耳、視野の広い離れた目、嗅覚鋭いヒクヒク、動いた鼻、瞬発力の優れた脚。的確に情報を集める瞬時に行動のできる日本社会での思いで今年はいとの思いで今年にウサギを描かせました。年一度しか絵筆を持たない拙いものでも、その思いが伝わっています。切に願っています。



二十歳の成人奉告祭



も大勢お参りくださいました。祭では三木志織さんと青木克樹君が代表で玉串を奉奠し、代表に併せて全員の記念撮影を行いました。その後は、内には記念撮影の輪が広がりました。この成人奉告祭も二十歳の成人奉告祭です。殿が、二十歳の成人奉告祭を執り行います。成人奉告祭は、二十歳の若者たちが、成人としての責任と義務を自覚し、社会の一員として成長することを願う行事です。お参りした皆様、おめでとうございます。今年も、皆様のご健康と多幸を心からお祈り申し上げます。



田殿少年野球クラブの初詣

今年も爽やかな球児の必勝・健康のご祈禱をさせていただきます。昨年よりは日本中サッカーW杯で盛り上がり、3月のWBC。その盛り上がりのおかげで、お裾分けをいただいた。更には田殿のチームも更に飛躍してほしいと願っています。身を心と技を練る子どもたちに期待して、がんばれ田殿っ子。



古神札焚上げ式

心を込めて



し、焚き上げさせていただけました。色々と思いがこもっているお品ばかりでも、お近くやお寺で賜ったものには絶対によりし。お願いも、お詣りが数段大切かと思ひます。御神像との再会



鎮火祭 感謝と災除け

十二月一日早朝六時より、月並に「鎮火祭」を執り行いました。この郷を消防団く下さる消防団の方々にご参列いただき、感謝すると共に、火の災い、「火の用心」のお札をお配りさせていただきました。



粥占い 深夜に江戸の鉄釜で

一月十五日、粥占い神事を執り行いました。深夜に神殿の脇で江戸時代の古い鉄釜で小豆粥を焚き、その中の竹筒の中に入る小豆の量を米や柑橘の収穫を占います。今年も十分にお祈り、安心しました。



近年は異常気象が全国各地で起こっています。科学的な力と氏神様のお力でこの地の農業が益々発展するのを願っています。

御神像との再会

山一昨年、別展に「山一昨年、別展に」... 丹生神社の御神像の再会... 山一昨年、別展に「山一昨年、別展に」... 丹生神社の御神像の再会...



令和五年厄年表

男性		
前厄	本厄	後厄
24歳 (平成12年生)	25歳 (平成11年生)	26歳 (平成10年生)
41歳 (昭和59年生)	42歳 (昭和57年生)	43歳 (昭和56年生)
60歳 (昭和39年生)	61歳 (昭和38年生)	62歳 (昭和37年生)
女性		
前厄	本厄	後厄
18歳 (平成18年生)	19歳 (平成17年生)	20歳 (平成16年生)
32歳 (平成4年生)	33歳 (平成3年生)	34歳 (平成2年生)
36歳 (昭和63年生)	37歳 (昭和62年生)	38歳 (昭和61年生)
60歳 (昭和39年生)	61歳 (昭和38年生)	62歳 (昭和37年生)

※数字は、誕生日の都合は、誕生日を迎えている場合は、「歳」に調整します。

ホームページ・インスタグラム・フェイスブックでも情報を発信しています。